

弘前大学学報



平成28年度弘前大学学位記授与式

第 156 号
平成29年3月号

目 次

学内ニュース

○平成28年度弘前大学学位記授与式	1
○平成28年度弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」修了式を開催	5
○弘前大学グリーンカレッジ第1期生修了式を開催	6
○「平成28年度弘前大学合同企業説明会」を開催	7
○平成28年度弘前大学学生表彰を実施	8
○弘前大学永年勤続者表彰	9

諸 会 議	11
-------	----

人 事

○人事異動	14
-------	----

主要日誌	15
------	----

学内規則	16
------	----

平成28年度弘前大学学位記授与式

3月23日(木)、平成28年度「弘前大学学位記授与式」及び「弘前大学大学院学位記授与式」が来賓、関係者出席の下、厳かに行われました。

「弘前大学学位記授与式」は第1部、第2部の二部制で行われ、第1部(人文学部、教育学部)が11時から、第2部(医学部、理工学部、農学生命科学部)が13時30分から執り行われました。

始めに、佐藤学長から学位記が各学部のそれぞれの代表の学生に授与されたのに続き、学長による告辞、そして卒業生が答辞を述べ、式典を終えました。

式典終了後は、記念写真に収まるグループや後輩達から胴上げの祝福を受けるグループなどで、弘前市民会館は祝福ムードでいっぱいとなりました。

○弘前大学

学士学位記

人文学部	332名
教育学部	235名
医学部医学科	121名
医学部保健学科	194名
理工学部	286名
農学生命科学部	179名
計	1,347名

○弘前大学大学院

修士又は博士前期学位記

人文社会科学研究科(修士)	17名
教育学研究科(修士)	29名
保健学研究科(博士前期)	27名
理工学研究科(博士前期)	87名
農学生命科学研究科(修士)	28名

博士又は博士後期学位記

医学研究科(博士)	37名
保健学研究科(博士後期)	12名
理工学研究科(博士後期)	8名
地域社会研究科(博士後期)	3名

論文博士

医学研究科	1名
計	249名

平成28年度弘前大学学位記授与式

告辞

弘前大学長 佐藤 敬



今年の新年は暖冬の中で迎えたものの、結局はこの冬も長く厳しいものになりました。そんな津軽の地にも待望の春が訪れ、卒業生をお送りする季節を迎えました。そして本日、ここ弘前市民会館において、ご来賓の方々のご臨席の下、平成28年度学位記授与式を挙げていただけますことは、私たち弘前大学職員にとって大きな喜びとするところであります。それは、弘前大学において、卒業生の皆さんが大きな努力の下に自らを大きく育み、そして今、新たな道を歩み出そうとしていることに限りない希望を感じるが故の喜びであります。

本日、学位を取得し卒業される人文学部と教育学部の卒業生567名(第二部では、医学部、理工学部、農学生命科学部の卒業生780名)の皆さんに心からお祝いを申し上げます。皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

我が国の大学進学率が50%を超え、また短大・高等専門学校などを含めた、いわゆる進学率が80%に達する中、最早、大学教育は特別のことでなくなりつつあります。しかしながら、そんな中であっても、大学生活を送ることができたのは皆さんお一人おひとりにとって幸せなことであったと、私は信じています。長きにわたって勉学を続けられたのは、それ自体、素晴らしいことですが、勉学以外にも、学友や教員との交流、課外活動、ボランティア活動やアルバイト等々、皆さんの大学生としての日々は間違いなく、輝きに満ちたものであり、その中で皆さんは多くのことを学び成長してきました。中には、海外留学を経験した人も居られるでしょう。皆さんが大学生として多様な経験を積むことができたのは、大変貴重なことであり、皆さんを大きく成長させたものだと言って間違いありません。どうか、皆さんも、弘前大学で過ごした日々を幸いに思い、そしてその経験を、今後のキャリアの中で遺憾なく活かして下さいよう願っています。

弘前大学は主として地域社会の発展に貢献する大学であることを明確にしており、これは、他の54の国立大学と共に、弘前大学が自ら選んだ枠組みです。しかしながら、そのことは、例えば、東京大学をはじめとする世界レベルの教育研究を目指す大学に比べて、本学が劣っていることを意味するものではありません。青森県を中心とする北東北地域と連携し、その発展に貢献することを目指す高邁な活動は弘前大学にしかできないことであると同時に、そこで皆さんが学んだことは、間違いなく世界に通用するものです。皆さんが今後如何なる道を歩もうとも、これまでの経験を十分に活かし、そして新たな学びにしっかりと対応することの中で、高等教育の価値が問われるのです。どうか、弘前大学で学んだことに自信と誇りを持って、存分に活躍して下さいよう願って止みません。皆さんが我が国のリーダーとして力強く活躍して下さいようをもって、高等教育機関としての弘前大学の役割も全うされると言えます。弘前大学は今後も教育研究の成果をしっかりと挙げていきますが、皆さんは、時には弘前大学のことを思い起こし、声援を送って下されば幸いです。

本日この場で、私が改めて皆さんに申し上げたいことは以上に尽きるのですが、最後に最も大切なこ

ととして、皆さんの今後のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、告辞と致します。皆さん、ご卒業おめでとう。



平成28年度弘前大学大学院学位記授与式

告辞

弘前大学長 佐藤 敬



津軽の地にも待望の春を迎える中、本日、ここ弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、平成28年度の大学院学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは、私にとって大きな喜びとするところであります。まずもって、本日学位を取得された皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、誠におめでとうございます。

我が国の18歳人口の減少は社会に大きなインパクトを与えることであり、なかでも大学は最も影響を受けるものと思います。実際、全国的に学部入試の志願者は今後減って行き、それほど遠くない将来に大学の淘汰が始まるとも言われています。そんな中であって、我が国の高等教育の近未来がどうあるべきかについての議論は混沌としています。しかしながら、大学院に関しては、その重要性がますます大きくなることは間違いなく、皆さんは、そのことを明確に証していくべき人材であります。多くの若者がより高度な学問を修めるようになるのは、若年人口減少の影響に対抗することでもあると言えます。

高等教育の役割は教育研究の成果をもって社会に貢献することですが、学問の成果を計る指標は様々ではなく、社会貢献の在り方もさまざまです。皆さんがこれまで追究してきた学問は今後の皆さんのキャリアにとって役に立たないことなどありえません。いかなる学問であれ、その成果を否定することがあるとしたら、学問そのものを否定することに等しいと言わざるを得ません。また、我が国は先進国の中では、大学院修了者の割合が低いのが事実です。皆さんはこれまで長きにわたって学問を続けて来られたこと、弘前大学において学位を受けたことに誇りをもって、社会において存分に活躍して下さることを願い、また信じています。

皆さんが長年にわたって学び続け、高度な学問を修めたことは、尊敬に値することですが、一方で、学問は深く追究すればするほど、無限の広がりがあることを知るのであり、長い歴史を重ねたとしても決して学問に終わりはありません。そう考える時、学問を追究する人間は常に謙虚でなければならないと思います。皆さんは、誇りを持つと同時に謙虚であって欲しいと願っています。

皆さんの中には、海外から留学された方々も居られます。異国での生活には大きな困難もあったことと思いますが、今となっては、皆さんにとって貴重な経験であったと言えるのではないのでしょうか。そんな中で大学院を修了されたことに敬意を表します。これからも、弘前大学で学ばれた経験を忘れることなく、皆さんの母国と我が国の間の懸け橋であり続けていただくようお願いします。

弘前大学が皆さんと共に教育研究の営みを進められたことを私は幸いに思っています。そして、皆さんの後に続く学究の徒と共に、学問を継承していくため、しっかりと力を尽くして行きたいと思います。皆さんには、今後も弘前大学の応援団であっていただくようお願い致します。

終わりに、本日、修士あるいは博士の学位を取得された二四九名の皆さんお一人おひとりの、今後のご健勝とご多幸を心からお祈りして、告辞と致します。

平成28年度弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」修了式を開催

平成29年3月1日（水）、平成28年度弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」修了式が佐藤 HIROSAKI はやぶさカレッジ校長、吉澤副校長、国際連携本部教員、教育推進機構(イングリッシュラウンジ)教員列席のもと、創立50周年記念会館会議室にて執り行われました。

修了式では、修了証書授与の後、佐藤校長から恒例の英語による挨拶があり、修了に至る努力を讃える言葉とこれからの国際社会への貢献を期待する言葉が送られました。それに応えて、修了生の人文学部3年加藤美里さんから校長、副校長及び指導にあたってくださった教員一人ひとりへの感謝の言葉とこれから出発するアメリカ合衆国のメイン州立大学への協定校留学に向けた決意が英語でスピーチされました。

修了式後、指導してくださった教員と喜びを分かち合い、次なるステップへの希望にあふれる表情が印象的でした。



修了証書を手にする加藤美里さん

弘前大学グリーンカレッジ第1期生修了式を開催

弘前大学は、去る平成29年3月1日（水）、弘前大学グリーンカレッジ第1期生修了式を、創立50周年記念会館岩木ホールにおいて執り行いました。

本カレッジは、地域の方々の「学び直し」のニーズにこたえるため、正規学生の開講科目の一部を開放し、学生との共学やサークル活動、大学行事への参加等を通じて、学生と一緒にキャンパスライフを経験することを目的に平成27年度に開校したものです。

この度、その第1期生17名に修了証書が授与されました。

佐藤カレッジ校長（弘前大学長）から「カレッジ生の存在が現役学生の良い刺激となったこと、今後益々魅力ある“学び舎”にしていくこと、グリーンカレッジから離れても学問への探求心を持ち続けて欲しいこと」と告辞がありました。

そして、修了生代表からは、授業の様子やサークル活動の楽しい思い出等について答辞があり、最後に閉会の辞をもって厳かに終了しました。

引き続き、懇話会が開かれ、修了者全員から校長はじめ関係者への感謝の言葉や学生との思い出話、今後の進路、更なる学びの希望等、会話が途切れることなく和やかな会となりました。



修了生と佐藤学長らとの記念撮影

「平成28年度弘前大学合同企業説明会」を開催

弘前大学キャリアセンターは、平成29年3月2日（木）、3日（金）の2日間に渡り、平成30年3月卒業予定の学部3年生と修士1年生を対象とした「弘前大学合同企業説明会」を開催しました。会場のアートホテル弘前シティには、地元企業や大手企業等211社がブースを設置し、約900名の学生たちが業務内容や人材育成の制度等について企業担当者の説明に熱心に聞き入っていました。

参加した学生からは、「複数の企業から一度に説明を受けられ、具体的に比較することができた」「事前ガイダンスで説明を聞いていたので、効率的にブースを回ることができ、10社から話を聞いた」「いろいろな業種の話が聞け、仕事のイメージがつかめた」という声があり、参加した企業からも、「積極的で熱心な学生が多い」「就職に対する意識が高い」といった声が寄せられ、本学学生の就職活動の第一歩として、大変有意義な機会となりました。



会場の様子

平成28年度弘前大学学生表彰を実施

本学では、研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する学生表彰授与式を、平成29年3月7日（火）大学会館3階大集会室で行いました。

今回の受賞者は、課外活動等で活躍した7団体、研究活動や課外活動で活躍した学生27名で、表彰式には各研究科長・学部長、指導教員及びサークル顧問教員も出席し、佐藤学長から学生1人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。

佐藤学長から、「皆さんの成果は本学の誇りであり、本学の名声を高めていただいたことに心から感謝します。ただその成果は、皆さんだけのものではなく指導教員であり、共に努力した学友であり、いろいろな面で支援した職員の手助けがあつてのことだということを受験に受け止めて欲しい。また、これからも本学の他の学生に大きな良い刺激を与えて欲しい。今後も益々の研鑽と努力を期待しています。」と学生の功績を讃える言葉が贈られました。

受賞者を代表して、人文学部現代社会課程4年の坂本大河さんが「私たちの日頃の活動が認められ表彰されるということが非常に嬉しく誇りに思う。学内外での活動が、佐藤学長はじめ、多くの大学関係者の方々に支えられているということもあらためて強く感じた。今後も、自分たちが弘前大学の学生であるという誇りと自覚を持って、それぞれの活動に精進していきたい。」と謝辞を述べました。



弘前大学永年勤続者表彰
～永年の功績を称える～

平成 29 年 3 月 31 日をもって退職される方々及び在職者に対する弘前大学永年勤続者表彰式が、3 月 22 日（水）創立 50 周年記念会館みちのくホールにおいて、理事・部局長等の列席の下に執り行われました。

式典では、佐藤 敬 学長から退職表彰者並びに在職（20 年）表彰者に対し、永年にわたり職務に精励されたその功績が称えられ、表彰状及び記念品が授与されました。

また、退職表彰者を代表して医学研究科 早狩 誠 教授から、在職（20 年）表彰者を代表して教育学部 野呂 徳治 教授から、それぞれ感慨を込めた謝辞が述べられました。

今回、表彰を受けられた方々は次のとおりです。

○退職表彰者 20 名（敬称略）

施設環境部	鈴木 金逸
人文社会科学部	鈴木 和雄
教育学部	奥野 忠徳， 菅野 幸宏， 市原 聡子
医学研究科	早狩 誠， 中路 重之， 中根 明夫， 外崎 敬和
医学部附属病院	秋元 広之， 原 悦子， 村上 裕子， 三上ゆみ子， 増田 陽子
	三浦 静， 寺田 久実， 石村美枝子
理工学研究科	飯倉 善和， 伊藤 昭彦
生涯学習教育研究センター	藤田 昇治

○在職（20 年）表彰者 30 名（敬称略）

国際連携本部	鳥潟 裕美
総務部	高田実希子
学務部	工藤理砂子
研究推進部	成田 保教
人文社会科学部	小谷田文彦， 葛西 裕美
教育学部	野呂 徳治
医学研究科	今泉 忠淳， 石橋 恭之， 鈴木 幸彦， 中野 創
保健学研究科	若山 佐一， 小倉能理子， 對馬 栄輝
医学部附属病院	塚本 利昭， 四釜 佳子， 藤田絵理子， 山内 真弓， 成田亜紀子， 常田 正美， 粟津 朱美， 木村 尚子， 藤岡 香織， 鈴木登紀子
理工学研究科	佐川 貢一， 石田 祐宣， 渡邊 和俊， 葛西 昭治
青森キャンパス	板垣 学
附属図書館	長谷川友紀



退職表彰者代表
医学研究科 早狩 誠 教授



在職（20年）表彰者代表
教育学部 野呂 徳治 教授



退職表彰者との記念撮影



在職(20年)表彰者との記念撮影

諸会議

▼役員会

3月6日（月）

審議事項

1. 職員の懲戒等について
2. 職員の懲戒等について
3. 職員の懲戒等について
4. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会における調査・審査すべき事案について
5. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会における調査・審査すべき事案について
6. 平成29年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
7. 特定プロジェクト教育研究センターの評価結果について
8. 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について
9. インフラ長寿命化計画（行動計画）について
10. 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
11. 平成28年（2016年）熊本地震により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
12. 平成28年台風10号により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について

報告事項

1. 第15回北東北国立3大学連携推進会議等について
2. 附置研究所の見直しに係る検討状況について
3. キャンパスマスタープランについて
4. 弘前大学グロウカルファンドの採択結果について
5. 弘前大学ボランティアセンター活動報告会の開催について

3月16日（木）

審議事項

1. 特任教員の選考について
2. 国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程の一部改正について
3. 平成29年度弘前大学予算実施計画案について
4. 平成29年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について

報告事項

なし

3月27日（月）

審議事項

1. 職員の懲戒等について
2. 職員の懲戒等について
3. 国立大学法人弘前大学教育研究院教員選考規程の一部改正について
4. 弘前大学情報セキュリティ対策基本計画の策定について

報告事項

1. 国立大学法人弘前大学における研修の実施計画について
2. 弘前大学教員の研究業績について
3. 平成28年度知的資産部門活動状況報告について
4. 第14回弘前大学資料館企画展について

▼教育研究評議会

3月14日（火）

審議事項

1. 平成29年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
2. 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
3. 平成28年（2016年）熊本地震により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
4. 平成28年台風10号により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
5. 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. 弘前大学グロウカルファンドの採択結果について
3. 寄附講義の開設について
4. 委員会等報告
 - (1) 教育委員会報告（3月1日開催分）
 - (2) 入学試験委員会報告（2月13日開催分）
5. その他

▼経営協議会・教育研究評議会合同会

3月21日（火）

協議事項

1. 今後の課題等について

▼教育委員会

3月1日（水）

審議事項

1. 弘前大学授業料免除及び徴収猶予選考基準の学力基準について

報告事項

1. 平成29年度 弘前大学基金事業計画の策定について
2. 学生特別支援室の活動報告について
3. 第12回学生相談を考える会について
4. 課外活動団体の結成について
5. その他

3月29日（水）

審議事項

1. 平成29年度弘前大学教育委員会委員及び組織（役割分担）について
2. 平成29年度 弘前大学基金事業計画(学生支援関係)について
3. 弘前大学学生のための「学内ワークスタディ」（WS）実施要項等の改正について

報告事項

1. 平成29年度入学者 弘前大学ゆめ応援プロジェクト決定者数について
2. 「学生生活に関する研修会」の開催について
3. 学内ワークスタディ懇談会について
4. 平成28年度保護者・保証人アンケート集計結果について
5. 平成28年度学生ボランティア活動助成報告について

人 事 異 動

これまで毎月の人事異動を掲載しておりましたが，個人情報保護の観点から，今月から掲載しないこととさせていただきます。何卒御了承下さいますよう，お願い申し上げます。

主要日誌

- 3月 1日 平成28年度弘前大学「HIROSAKI はやぶさカレッジ」修了式
〃 弘前大学グリーンカレッジ第1期生修了式
〃 教育委員会
2日 平成28年度弘前大学合同企業説明会
3日 〃
6日 平成29年度一般入試前期日程合格発表
〃 第476回役員会
7日 平成28年度弘前大学学生表彰
14日 教育研究評議会
〃 企画戦略会議
16日 第477回役員会
20日 平成29年度一般入試後期日程合格発表
21日 経営協議会
〃 経営協議会・教育研究評議会合同会議
22日 永年勤続表彰
23日 平成28年度弘前大学大学院・弘前大学学位記授与式
24日 事務連絡会議
27日 第478回役員会
29日 教育委員会
30日 学長説明会

学内規則

(平成29年3月17日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学大学院医学研究科規程

大学院医学研究科における新たな共同研究講座及び寄附講座の設置に伴い、関連の教育研究分野及び授業科目の追加のため、上記の規程を一部改正した。

(平成29年3月24日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学大学院学則

○弘前大学学位規則

○弘前大学の学部及び研究科における教育研究組織の編制等に関する規程

○弘前大学大学院振興基金に関する規程

○弘前大学大学院教育学研究科規程

○弘前大学教育学研究科委員会規程

平成29年4月1日、教育学研究科に専門職学位課程である教職実践専攻(教職大学院)を設置すること、及び同研究科の修士課程を再編することに伴い、上記の規則等を一部改正した。

(平成29年3月29日一部改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程

医学部附属病院に勤務する研修医の増加を目的に、臨床研修手当の月額を引き上げることにより給与水準を向上させるため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第156号

弘前大学総務部総務広報課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111